

令和4年8月市長定例記者会見

日 時：令和4年8月1日（月） 午後1時30分～

場 所：射水市役所会議室302

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、朝日新聞、

NHK 富山放送局、庄東タイムズ、時事通信

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、河川・港湾課長、未来創造課長、生涯学習・スポーツ課長補佐

○質疑応答の概要

Q 1. ピースロードの訪問応対を急遽取り止めたということだが、過去にも例年訪問を受けることはあったか。

A 1. ピースロードの表敬訪問について、取り止めというよりは、先方から急遽延期の申し出があった。これまでの対応としては、本市には令和元年度、2019年から表敬訪問に来られている。2019年については平和等の取組み所管の担当部長が対応している。2020年についても財務管理部長で対応した。2021年については私自身が訪問の対応をした。

Q 2. 過去3年の訪問時期は定まっていたか。

A 2. 正確なスケジュールについては曖昧であるが、こうした夏の暑い時期に実施しておられたという認識がある。

Q 3. 1年前の訪問を受けた際に、特定の宗教団体について、変わった印象等があったか。

A 3. 変わった感じはなかった。実際対応した際には、平和のメッセージを書いてくれということで、私の方から平和を祈願するような内容のメッセージを書いた。また、写真撮影の応対もあったかと思う。

Q 4. 過去の訪問の際、報道機関への案内はあったか。また、訪問の際に報道機関が同席していることはあったか。

A 4. 確認させていただきたい。

Q 5. 市としてピースロードのイベントに後援名義を付けたことはあるか。

A 5. 2020 年から毎年、射水市後援名義の使用申請があり、承認をしてきた。特定の宗教団体との関りが明らかになったため、今後については慎重に検討していきたい。

Q 6. 該当の 2 か年に関しては、「射水市後援」ということで事業が実施されたということか。

A 6. はい。

Q 7. 市長自身の政治家としての個人的な接点は、全くないか。

A 7. 個人として例えば選挙の応援等において、特定の宗教団体との接点はない。

Q 8. 市長がコロナから回復されて、最近の市長の健康面について確認させていただきたい。

A 8. おかげさまで元気に過ごしている。自宅療養の際には、高熱はそれほど出なかったが、のどの痛みがずっと続くという状況だった。現在は回復し元気になっている。

Q 9. ペイペイに関して、県のプレミアム食事券と時期が被っていることについて、また、予算について、夏に使い切ってしまった際に冬はどうするか等、どのようにお考えか。

A 9. 前回、早期終了をやむなくせざるを得なかった。県内のペイペイ関連事業の中でも、1 番大きな還元率での実施であった。射水市商工協議会会員店だけでなく、全国チェーン店やドラックストア等小売店も対象であり、大きな反響があった。コロナ対策として実施をさせていただいたが、大変密な状態を発生させるなど、市民の皆さまの安全の確保が難しいという状況、また予算面についても超過し、早期終了を余儀なくされた。今回の還元率等の条件は、前回のよりも抑えたものになっている。

商工協議会で主催ということで、対象店舗は会員のみ参加になっている。会員になることで、経営や融資の相談などの対応サービスが利用できるようになるため、会員募集にも活かされるのではないかと考えている。

県のプレミアム食事券の時期と一緒にになったという点では、県とは別で市独自の取組みとして検討してきた取組みであり、県の取組みについて事前に分かっていたら、より効果的な実施時期について協議することも可能だったかと思う。こちらとしても市商工会議所等と準備を進めてきたという関係上、同じ時期の開催になった。

今回の取組みは9月30日までの期間の他、年末年始の開催も考えている。議会においては、その分の予算も入れていただいている。今回大きな効果があり、冬の予算に食い込んだ場合はどうするのか、という質問については、まずは9月30日までの取組みの中で、より大きな効果が出るよう取り組んでいきたい。大きな効果が得られた際には、予算の在り方や実施の方法等、9月までの期間の取組みを検証し、改めて対応させていただく可能性があると考えている。

Q 1 0．商工団体会員のみ参加ということで、非会員からの不満の声は入ってきていないか。

A 1 0．私の方に直接そのようなお声は届いていない。今回は商工会議所・商工会主催ということで、会員に限るという点については致し方ないと思っている。

Q 1 1．ピースロードの件で、過去に訪問を対応した担当部長とは、何部長か。

A 1 1．財務管理部長である。

Q 1 2．射水市としては、ピースロード以外に旧統一教会のイベント等における後援や関わりはあったか。

A 1 2．現在確認中である。ピースロードの件もそうであるが、簡単に関わりがあるか分からないような、平和の推進という内容で反対する理由がないものや、また県会議員の先生方も関係しているようなものもあり、表敬訪問などの対応をしていた。今後については、それぞれのイベントがどういった内容のものなのか、旧統一教会が関わられたものについては慎重に検討していきたい。

Q 1 3. 富山新港花火大会の火災について、出火の原因は何か。

A 1 3. 火災の原因について消防が現場検証し、原因を調査しているところである。通常で開催であれば、台船を使って打ち上げを行っていた。今回は台船の確保ができず、海王丸パークの端の方から打ち上げた。このような場所の変更から火災が起こったわけではないようである。防止対策の徹底について話し合っていきたい。

Q 1 4. 台船が他のところに移動していた、というのはどういうことか。

A 1 4. 台船の状況について、新型コロナウイルス感染症による物流の関係の仕事等がなくなり、仕事場所を変えていた。台船の場所も戻すことは莫大な費用が必要になることから、断念した。

Q 1 5. 場所の移動が火災の原因ではないとなぜそのように判断しうるのか。

A 1 5. 台船で打ち上げていた場合は、そもそも火災は起こらない。打ち上がった花火が落ちてくる火の粉が原因ではないと状況から考えている。火災が起ってしまったそもそもの原因について検証していかなければならないと考えている。

Q 1 6. 誤射であった場合に市民へ影響を与える可能性はあったか。

A 1 6. 誤射という話ではないようである。花火業者の方が火傷したということで、その方たちにとっても間違いは大きな事故につながりかねないため、再発防止に向けて取り組んでいく必要がある。

Q 1 7. 花火を打ち上げる際の安全管理は花火業者に一任しているのか。

A 1 7. 花火業者に基本的に安全管理をしていただいている。市として消防車の待機や救急搬送の対応はさせていただいている。来場者への誘導や対応は職員が担当していた。

Q 1 8. 発射の責任は、業者の責任で行っていたということで合っているか。

A 1 8. はい。